

# よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2022年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2022」としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

## 但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬(朝来市生野町)にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地域創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

## 地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

～ボランティアを始めて27年～

### ■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など 地域に根ざしたボランティア活動に継続して取り組んでいます。



当金庫は、阪神淡路大震災以降、27年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣する形で、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- ・高齢者宅(約2,300軒)へのケア訪問
  - ・職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
  - ・「認知症バリアフリー宣言試行事業」への参加
  - ・「フードドライブ」、食品ロス削減活動への協力
  - ・全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の開催
  - ・「こども119番の店」への登録
  - ・献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力
- などの活動を継続しています。



「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

### ■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、次のような新たな事業の創造支援等を通じて、地域の活性化や雇用の創出に向け、地方創生事業への参画に積極的に取り組んでいます。



#### 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」関連事業

銀の馬車道ネットワーク協議会は、「銀の馬車道」ルートをたどる観光スポットとして、沿線の主要な箇所にも馬車のモニュメントを設置し、日本遺産ストーリーの見える化を行ってきました。2022年3月30日(水)、「銀の馬車道修築碑ミニパーク」(姫路市砥堀、市川右岸)に4箇所目のモニュメントを設置し、2018年度より取り組んできた「馬車

復活事業」が完了しました。当金庫は日本遺産認定当初から協議会に参加しており、今後もエリア内外への認知度向上、来訪者増加に向け積極的に取り組んでまいります。

【モニュメント設置箇所】 ①神河町吉富「道の駅神河」東向い ②市川町浅野「国道312号線沿い」 ③福崎町辻川「観光交流センター駐車場」 ④姫路市砥堀「銀の馬車道修築碑ミニパーク」



#### 「日本毛織 旧社宅建築群」の利活用を応援しています

日本毛織株式会社様は、同社が明治末期から大正初期に建築し現存している、外国人技術者の居住施設や幹部社宅および従業員の長屋など、レトロ感あふれる旧社宅建築群の活用方法を検討されています。

当金庫は、加古川市に残る貴重な歴史遺産として、「日本毛織 旧社宅建築群」の利活用に積極的に関与しています。

